

(1) 取り組み一覧

		まちづくりの課題 活動の目標	A 主に協議会会員を対象にした活動	B 主に地域内の方々を対象にした活動	C 主に地域外の方々を対象にした活動
まちづくりの ステージ	1st ステージ	■課題 地域住民自身の地域の魅力の認識不足 ↓ ■活動目標 地域の魅力の再認識と 地域内外への発信	協議会設立 1st ステージの方針作成 1. 定例会(A-1-1) 2. 地域の魅力資源調査(A-1-2) 3. 先進都市調査(A-1-3) 4. まちづくり活動拠点(まちなみの案内所)の開設・運営(A-1-4)	1. 地域の魅力資源集の作成(BC-1-1) 2. まち歩きマップの作成・発行(BC-1-2) 3. 景観歴史発掘ガイドツアー(BC-1-3) 4. 歴史的建造物での講演会・シンポジウム(BC-1-4) 5. 歴史的建造物でのコンサート(みそ蔵コンサート、灯明コンサート)(BC-1-5) 6. 各種展示会(まちなみパネル展、版画展、町家展)(BC-1-6) 7. マスコミへの情報発信(BC-1-7) 8. 地域の食材を使った料理でのおもてなし(BC-1-8)	
	2nd ステージ	■課題 ①地域のまちづくりの方向性が不明確 ②まちづくりの効果の具現化(具体的に目に見える形で示す) ↓ ■活動目標 ①地域協働のまちづくり計画の策定 ②景観まちづくりの実践	1st ステージの振り返り 2nd ステージの方針作成 1. 景観づくり地域団体の認定(A-2-1) 2. 地域の状況を踏まえた効果的な助成金へのチャレンジ(A-2-2)	1. 地域との交流会・活動報告会(B-2-1) 2. かわら版の発行(B-2-2) 3. まちづくり計画の策定(ワークショップ形式)(B-2-3) 4. 景観づくり計画の策定(景観づくり委員会)(B-2-4) 5. 景観まちづくり宣言(B-2-5) 6. 「景観づくりの手引き」の作成(B-2-6) 7. 町家再生の実践(B-2-7) 8. 旧町名表示板の設置(B-2-8) 9. 「姪浜町家」の認定(B-2-9) 10. 地域のシンボル再生活動(B-2-10) 11. 子どもたちを対象にした景観づくり普及活動(B-2-11)	1. 地域づくりネットワーク活動(C-2-1) 2. 景観づくりネットワーク活動(C-2-2) 3. 大学との連携活動(C-2-3) 4. 展示会を主体としたウィークリー事業(C-2-4) 5. 町家活用イベント(C-2-5) 6. 着物でそぞろ歩き(C-2-6) 7. 「姪浜ブランド」の認定&PR(C-2-7) 8. 全国区の賞へのチャレンジ(C-2-8) 9. 地域からの贈り物(C-2-9) 10. 様々な場面での姪浜のPR(C-2-10) 11. 視察受入&意見交換(C-2-11)
	3rd ステージ	■課題 ①景観づくりの実践に向けた意識高揚 ②新たな魅力スポットや、姪浜らしさにこだわった多彩な事業の発掘・発信 ↓ ■活動目標 ①姪浜のまちなみの個性の再構築 ②次のステージに向けた取り組みの推進	2nd ステージの振り返り 3rd ステージの方針作成 地域を取り巻く新たな課題や動向 ①各種受賞を次のステージにつなげる。 ②姪浜の歴史的・景観的シンボルの消失 ③歴史的景観保護に向けた福岡市の取り組みとの連携 ④空き店舗の増加によるシャッター商店街化 空家、駐車場、ワンルームアパートの増加による町並みの個性の喪失 ⑤まちづくりの体制づくりと地域内の各団体の連携 ⑥「今あるモノを活かす」という視点での地域の魅力の再発掘	1. 地域内の各団体の連携によるまちづくりの推進(B-3-1) 2. 空き店舗活用のモデル的实践(B-3-2) 新たな課題や動向への筆者の対応案 ①「元気！姪浜計画」の着実な推進 ②「姪浜まち旅プロジェクト計画」の推進による、身の丈に合った観光スタイルの定着 ③景観づくりの地域への普及と実践 ④空き店舗や空家の活用に向けた地域としての取り組み ⑤地域に根ざしたまちづくり協議会に向けてまちづくり協議会を超えた、地域全体としての取り組み ⑥身近な歴史資源を活用した環境保全活動&歴史回遊ネットワーク構築 近隣地域と連携した多彩なフットパスの推進 唐津街道をテーマとした広域連携の取り組みの推進	1. 新たなまち旅プロジェクトの開発(C-3-1) 2. win-win-win-win 方式によるまち歩きマップの作成・発行(C-3-2) 3. 「まち旅プロジェクト計画」の策定(C-3-3)

（２）取り組み事例集

A－１－１ 定例会



定例会は、発足当時から毎月1回を基本に実施してきた。事業内容やスケジュールの確認が主な議題であるが、筆者の定例会の進め方は、必ずレジュメをしっかり作り込み、何を協議するのか、何を決めるのかを明確にしてきた。議事録代わりにもなるし、欠席された方にも協議内容がわかるようにするためでもある。また、進行が事務局からの一方通行とならないよう、ワークショップをしたり、市役所の出前講座を取り入れたりするなどの工夫も忘れなかった。

A－１－２ 地域の魅力資源調査



最初の取り組みとして、地域にどのような魅力資源があるのか、地域の特徴である寺社、町家、路地、塀、お堂、地蔵、石碑、緑等を調査した。協議会で実施したものもあるが、筆者が個人的に調査したものが圧倒的に多い。地域内をくまなく、そして何回も歩いた。歩く度に新しい発見もあり、同じ場所でも季節によって違った表情を見せてくれた。通りかかった地域の方々も声をかけてくれた。こうした地域の方々との出会いも調査の楽しみであった。こうした調査をもとに、「まち歩きマップ」や「地域の魅力資源集」を作成したり、身近なまちかど遺産を「姪浜まちかど遺産」として評価・紹介してきた。

A－1－3 先進都市調査



これは、町並み等の地域固有の魅力資源を活かしたまちづくりを推進している地域の調査であり、会員に実際に見て感じてほしいと企画したものである。姪浜とは置かれている状況は異なるが、他の都市を参考にしながら「姪浜の魅力資源をどのように活用していくのか」についてしっかり考えていくことが必要である。先進都市調査は、そのための絶好の機会である。協議会会員や関係団体の皆さまと一緒に視察に行った肥前浜宿、塩田宿、臼杵、杵築の町並みが印象に残っている。

A－1－4 まちづくり活動拠点（まちの案内所）の開設・運営



平成 22 年2月に、国の登録有形文化財であり、地域のシンボルとなっているマイヅル味噌の建物内に「まちの案内所」を開設した。これは活動を進める過程で、会議をするスペースや荷物を置くスペースが必要になったものであり、味噌貯蔵用の冷蔵庫が置かれていた 20 m²の部屋を、約3ヶ月かけて会員が手作業で壁塗りや床の張り替え等を行った。ここでは、会議の他、周辺の見どころを紹介したまち歩きマップやかかわら版の配布、イベントや唐津街道に関する情報提供等を行ってきた。

BC-1-1 地域の魅力資源集の作成



地域の魅力資源調査をもとに「地域の魅力資源集～唐津街道姪浜 見て歩き、食べ歩き～」を作成した。当初版でも 30 数ページにも及ぶもので、我ながら力作であった。古いパソコンを使っていた時代で、動きが悪く、作成に苦労したのを思い出す。この資源集は協議会主催の最初のまち歩きイベント（平成 20 年3月）で参加者に配布され、とても喜ばれた。しばらくは、まち歩きイベントの度に更新を続けた。活動を始めた平成 19 年当時の姪浜の町並みの現状を伝える貴重な資料でもある。また、概要版も作成し配布した。概要版を拡大したものが、まちなみパネルである。

BC-1-2 まち歩きマップの作成・発行



地域の景観資源調査をもとに、「まち歩きマップ」を作成・発行し、地域の魅力を多くの市民に伝えてきた。当初版のマップ（平成 20 年3月発行）は、A3 両面、二つ折りのシンプルなものであり、片面が姪浜の魅力の紹介、片面がまち歩きマップとなっている（左）。また、23 年1月には広域回遊マップとして「海恋のまち・姪浜まち歩きマップ」を作成・発行した（右）。B3 蛇腹折り加工で、折り畳めば B5 サイズで持ち運びしやすいものとした。25 年4月には、上記の2つのマップを組み合わせたものを作成・発行し、現在のマップ（28 年3月作成・発行）に引き継がれている。

BC-1-3 景観歴史発掘ガイドツアー



平成 20 年 3 月に第1回目を開催して以来、春(桜の頃)と秋(紅葉の頃)を中心に年間2～3回実施。毎回 40～60 人が参加。地域の見どころである寺社、町家、路地等を案内してきた。姪浜特産の「魚嘉の蒲鉾」や「仲西商店の削り節」の試食も参加者に変喜ばれている。参加者との会話もまち歩きの楽しみである。2時間半のショートコースや昼食をはさんで回るロングコースも用意。いろいろな見どころを歩いて回れるのが姪浜の特徴であり、様々なバリエーションが可能である。こうした実践が「姪浜まち旅プロジェクト計画」につながっていった。

BC-1-4 歴史的建造物での講演会・シンポジウム



平成 19 年 9 月に第 1 回目を開催して以来、「景観形成と地域づくり」をテーマに、春と秋を中心に年間2～3回実施してきた。会場の規模に応じて毎回 30～120 人が参加。寺社やみそ蔵、町家、旧郵便局舎での講演会等を通じて歴史的建造物の魅力を伝えてきた。手間暇とお金をかけても、姪浜ならではの場所(空間)にこだわるのが重要である。また、その時のタイムリーな話題と人、雰囲気等を総合的に判断していくのが事務局長である筆者の役割であり、進め方である。

BC-1-5 歴史的建造物でのコンサート①（みそ蔵コンサート）



みそ蔵コンサートは、マイヅル味噌の建物が平成 19 年 12 月に国の登録有形文化財に登録されたことを機に、その魅力を地域内外に広く伝えようと、幻想的な雰囲気の中での演奏を楽しんでいただきたいと実施してきたものである（1 回目は平成 20 年 3 月。年間 2～3 回実施）。味噌の香りのする空間でのコンサートは珍しいということで、毎回多くの方々に参加していただいた。江戸時代後期に建てられ、地域のシンボルとなっているみそ蔵でのコンサートを通じて、歴史的建造物の魅力を伝えてきた。平成 28 年 12 月に役目を終え解かれたが、みそ蔵コンサートの思い出は忘れることはないだろう。

BC-1-5 歴史的建造物でのコンサート②（灯明コンサート）



多くの寺社があることも姪浜の大きな特徴であるが、地域の方々は意外とその歴史や魅力を知らない。灯明コンサートは、音楽だけでなく、普段味わうことのできない幻想的な雰囲気と魅力的な夜間景観を演出し、参加者に姪浜の魅力を伝えていくことを目的に行うものである。平成 21 年 10 月に第 1 回目を開催して以来、これまで 5 回実施してきた（興徳寺 3 回、姪浜住吉神社 2 回）。毎回 180～250 人が参加。姪浜ならではの空間と時間の中で、至福のひとときを過ごしていただいている。

BC-1-6 各種展示会①（まちなみパネル展）



春と秋のイベント等に合わせ、地域の見どころを紹介する「まちなみパネル展」を実施してきた。これは、地域資源集の概要版をA1サイズに印刷してパネル化したもので、当初は16枚のパネルを作成。このパネルの最初の出番は、平成20年10月の「西区まるごと博物館 IN 小戸ヨットハーバー」であった。大きさと枚数、統一されたデザインに来場者の評判も上々だった。このパネルは、毎年秋の「西区まるごと博物館」での展示だけでなく、みそ蔵でのイベント等の際にも何度も使われ、姪浜の魅力紹介ツールとしての役割を果たしてきた。

BC-1-6 各種展示会②（版画展、町家展）



これは、「唐津街道版画展」「ディスカバー姪浜展」「町家散歩展」など唐津街道や姪浜、町家等をテーマにした展示会であり、平成20年3月に第1回目を開催して以来、毎年1回程度、みそ蔵を中心に実施してきた。版画家の二川秀臣氏や漫画家の長谷川法世氏の作品も数回にわたり展示し、毎回500人程度の市民に来場いただいた。企画と準備は大変であるが、場所と内容にこだわった姪浜ならではの事業である。いろいろとところで構築してきた筆者の人的ネットワークを存分に活用させていただいた事業でもある。

BC-1-7 マスコミへの情報発信



寺町のよさ 有志PR

本堂前のコンサート会場。マンションが林立する足元に伝統的な街並みが息づいている＝福岡市西区鎮の鎮5丁目

燈明空間 響く音色

姪の浜 古寺で来月コンサート

福岡市西区鎮の鎮5丁目（八倉）にある古寺「鎮5」で、来月（10月）に「燈明空間 響く音色」と題してコンサートが開催される。このコンサートは、鎮5の住僧である僧侶と、地元で活動する音楽家たちによる。コンサートは、鎮5の境内で行われ、鎮5の歴史や文化について、住僧の講話が行われる。また、鎮5の境内には、鎮5の歴史や文化について、住僧の講話が行われる。また、鎮5の境内には、鎮5の歴史や文化について、住僧の講話が行われる。



読売新聞 福岡西かわらばん

2014年10月26日 4.5 土曜 第369号

姪浜大好き落書き消し隊

児童8人 寺でペンキ塗り

「昔からある場所大事にしたい」

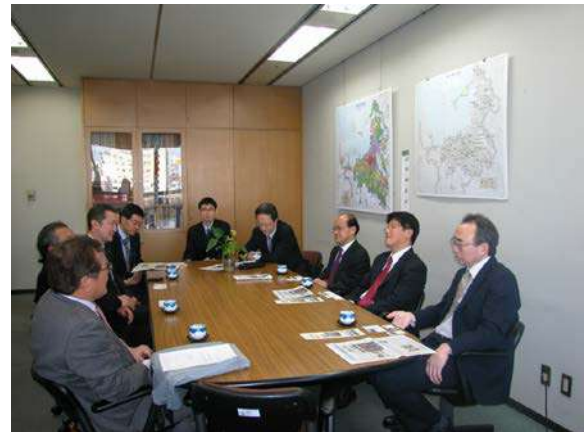
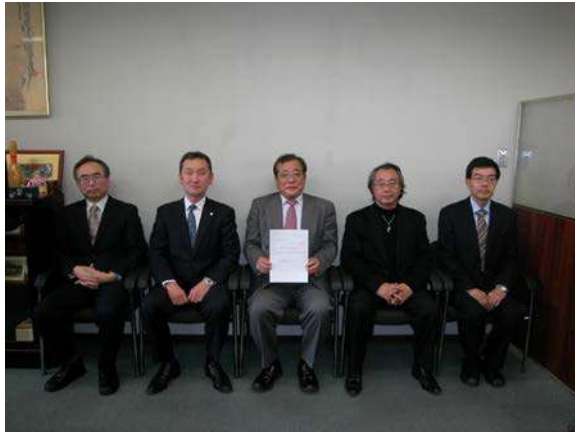
地域づくり活動において、マスコミの力を借りることは重要であり、イベントや受賞の広報にあたっては「マスコミに記事にもらえる内容」を常に意識して活動を進めてきた。一生懸命活動をして、地域の方々に協議会の活動を知ってもらえなければ、何の意味もないし、何もしないのと同じことである。また、マスコミを通じた地域への情報発信は、地域内外へのPR効果も高く、地域の方々の地域への誇りや愛着の醸成につながっていったと確信している。

BC-1-8 地域の食材を使った料理でのおもてなし



唐津街道サミットや全国町並みゼミ等の懇親会では、姪浜の食材（新鮮な魚、白魚、姪浜海苔等）を使った料理や、姪浜の名産品（魚嘉の蒲鉾、仲西商店の削り節、窯蔵のパン等）を使った料理を提供し、参加者に大変喜ばれた。また、昼食をはさむまち歩きイベントの際に、姪浜の老舗の料理店に協力いただいて特製の姪浜弁当を作っていたいたり、地域との交流会で姪浜ブランド店の協力をいただき、参加者に提供させていただいたこともある。手間暇はかかり、スタッフは大変であったが、まちづくりにはこうしたこだわりが大切である。こうした地道な取り組みが、姪浜ブランドの構築につながることを実感した。

A-2-1 景観づくり地域団体の認定



博多部の御供所地区に続き、福岡市都市景観条例に基づく「景観づくり地域団体」に認定された（平成 22 年3月）。これは、これまでの景観まちづくりに寄与する協議会の活動を福岡市が高く評価し、認定したものである。わかりやすく言えば、協議会が景観形成に配慮したまちづくりを進めていくことを行政が認定できる制度であり、自他ともに「景観」をキーワードとしたまちづくりを進めていくことを地域内外に宣言するものである。筆者が在籍中は「姪浜景観づくりの手引き」と「姪浜景観まちづくり宣言」を策定したが、今後は各会員のスキルアップとともに、地域の方々をいかに巻き込んでいくかが課題である。

A-2-2 地域の状況を踏まえた効果的な助成金へのチャレンジ

活動概要

活動NO: 2-1-3
 実施団体: 福岡市
 実施地区: 唐津街道姪浜まちづくり協議会
 活動名: 姪浜の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

1. 活動目的の概要

唐津街道は、福岡市東部の中心地であり、歴史的・文化的な価値を有する。本活動は、唐津街道の景観を向上させ、地域の活性化を図ることを目的とする。具体的には、唐津街道沿いの景観を調査・評価し、まちづくり宣言を策定し、実施する。

2. 活動内容

(1) 調査・評価: 唐津街道沿いの景観を調査・評価し、まちづくり宣言の基礎資料を作成する。

(2) まちづくり宣言の策定: 調査・評価の結果に基づき、まちづくり宣言を策定する。

(3) まちづくり宣言の実施: 策定したまちづくり宣言に基づき、まちづくり活動を実施する。

(1) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(2) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(3) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(4) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(5) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(6) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(7) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(8) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(9) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

(10) 唐津街道の歴史・景観のシンボルを「まちづくり宣言」のテーマとして掲げ、まちづくりを推進する。

みそ蔵を再び地域のシンボルに!
 ～姪浜の歴史的・景観的シンボル再生生活用プロジェクト～

江戸時代の姪浜と唐津街道（筑前名所図會）

2014年7月
 唐津街道姪浜まちづくり協議会

全国区の助成金にも果敢にチャレンジし、まちづくり活動を一層軌道に乗せることができた。筆者は協議会活動全体を見渡し、どの時期にどのような活動を進めていくのかを的確に把握し、それに応じた適切な助成金獲得を常に視野に入れていた。助成金を何に使うのではなく、数ある助成金の中から、協議会の活動状況に応じた助成金を選択し、チャレンジしていくことが大切であり、筆者は常にそれを意識していた。筆者が在籍中は7つの全国区の助成金に採択されたが、打率としては3割5分～4割程度と記憶している。

B-2-1 地域との交流会・活動報告会



アニバーサリー事業や受賞記念祝賀会では、日頃から協議会の活動にご支援・ご協力いただいている方々をお招きし、交流会を実施してきた。この中では、協議会の活動状況の報告や姪浜在住の演奏家によるミニコンサートを組み込み、交流を深めた。交流会は単なる懇親会ではない。「景観づくり計画」の報告会や「姪浜町家」認定プレート贈呈式等を組み込むことで、地域の方々に協議会の活動状況を伝えることができた。また、地元の音楽家に演奏していただくことで、地域としての一体感も演出することができた。

B-2-2 かわら版の発行



かわら版は、姪浜の魅力やまちづくり活動を地域の方々に広く発信することを目的としている。協議会活動を主体に、イベント情報の提供の他、「姪浜・まちかど遺産ピクニック」「まちなみ今昔」「トピック」「事務局長通信」等を掲載した(A3版、両面カラー)。姪北校区や姪浜校区での回覧板での広報の他、協議会案内所、地域内の主要なお店、近隣の5公民館、西区役所、福岡市情報プラザ等で配布した。地域内外の評判も上々であり、協議会の活動を広くPRする絶好の機会となっていた。筆者が協議会に在籍中、編集長として創刊号～第9号、号外(1回)の計10回発行した。

B-2-3 まちづくり計画の策定（ワークショップ形式）①



新旧の多彩な「よかとこ」を姪浜の個性として活かすことができるような「まちづくり・町並み景観づくり」を地域の方々とともに進めていくため、まずは、まちづくりの共有指針となるまちづくり計画策定に向けて、地域住民を対象としたワークショップを行った。テーマは、「地域固有の歴史的環境を活かした町並みづくり」「歴史的魅力を活かしつつ、臨海部の集客施設との連携をも考慮した商店街の賑わい形成」等であるが、具体的でわかりやすい課題を出し合いながら、楽しく取り組むことで、参加者に姪浜のまちづくりに関心を持っていただいた。

B-2-3 まちづくり計画の策定（ワークショップ形式）②



ワークショップやアンケート調査等を踏まえ、「元気！姪浜計画」を策定した。これは、地域による、地域のためのまちづくり計画であり、短期、中期、長期ごとに、具体的に何をしていくかの方向性を示したものである。協議会では、地元の人にとっては「住みやすさ・暮らしやすさ」のあるまち、訪れる人にとっては「楽しさ」のあるまちの実現を目標として、新旧の多彩な「よかとこ」を姪浜の個性として活かすことができるような「まちづくり・町並み景観づくり」を地域の皆さまとともに進めていきたいと考えている。「元気！姪浜計画」は、こうした想いを込めて策定したもので、地域のまちづくりの共有指針となるものと考えている。今後、具体的な実践活動に取り組んでいく必要がある。

B-2-4 景観づくり計画の策定（景観づくり委員会）①



「元気！姪浜計画」の主要な基本方針のひとつである「姪浜のまちの個性の再構築（住まいづくり・町並み景観づくり）」の実現に向けて、地元関係者、関係団体、九大生、専門家、行政職員等で構成する「唐津街道姪浜景観づくり委員会」を立ち上げ、景観づくり計画の検討を進めていった。具体的には、ワークショップ形式を取り入れながら、各委員から町並み形成や地域活性化に向けた多彩なアイデアをいただきながら段階的に検討を重ねた。

B-2-4 景観づくり計画の策定（景観づくり委員会）②



景観づくり委員会での議論を踏まえ、平成 24 年6月に「景観づくり計画ステップ1～景観づくりの考え方と景観よかこと事例集～」を策定。その後も議論を重ね、26 年3月に「景観づくり計画ステップ2」を策定した。ステップ2では、姪浜固有の地域資源を活かした景観づくりを浸透させ展開していくため、「景観づくりと並行して進めるべき実践活動」や「景観づくり推進組織」についても提案している。

B-2-5 景観まちづくり宣言

「姪浜景観まちづくり宣言～姪浜の宝を福岡市民の宝に！～」

姪浜のまちを眺めながらじつりと歩いてみると、町並みのそこそこたぐきさんの「よかとこ」を発見することができます。歴史ある数々の古き町家、唐津街道、路地、祠、お堂、寺社や民家の花・緑、港の風景など数え上げると切りがありません。このように姪浜は「寺町」「宿場町」「港町（通町）」「船町」の面影を今に伝える全国的にも珍しいまちです。

私たちは、地元の人たちにとっては「住みやすさ・暮らしやすさ」のあるまち、訪れる人々にとっては「楽しさ」のあるまちの景観を目標として、このような多彩な「よかとこ」を姪浜の個性として活かすことができるような「まちづくり・町並み景観づくり」を地域の皆さま方とともに具体的に実践していくため、ここに「姪浜景観まちづくり宣言」を行います。

『姪浜の宝を福岡市民の宝に！』の実現に向けて、地域の総力を結集して取り組んでいきましょう。

○姪浜ならではの多彩な歴史や文化を活かした景観づくりを進めよう

國徳寺や住吉神社に代表される寺社、江戸時代から昭和時代にかけての伝統的な町家、唐津街道の周囲の名残を感じさせる町並みや道の形、周辺のまち独自の路地のネットワーク、祠、お堂、寺社の豊かな緑、港の風景などは、姪浜固有の宝（魅力資産）です。これらを最大限に活用した景観づくりを地域協働で進めていきましょう。

○地域の貴重な財産である町家を現代的視点で再評価し、積極的に活用しよう

町家は、地域の長い歴史の中で生み出された建築様式です。「楽しい」「嬉しい」「暮らしにくい」ということをよく聞きながら、もともとプライバシーや採光、通風の確保など生活の知恵が詰まった家です。最近では、快適な暮らしが提案された事例やレストランなどとして再生された事例も多く見ることが出来ます。こうした町家の特性を現代的視点で再評価し、住居や店舗として積極的に活用していきましょう。私たちも町家を保全・再生・活用するための体制づくりを進めていきます。

○新しい建物や駐車場も町並みの向上に貢献するよう景観づくりの工夫をしよう

様々な事情で古い町家が解体され、その後はワンルーム形式のマンションやアパートが建ったり、駐車場になったりしています。新しい建物や駐車場も町並みの連続性や色彩、緑化などに配慮し、地域の町並み形成に積極的に参加していきましょう。

○景観づくりを住みやすさ・暮らしやすさや商店街の賑わい創出につなげよう

「何のための景観づくりか？」「だれのための景観づくりか？」ということをよく耳にします。姪浜の景観づくりは外観を整えたり、緑化を図ることが主な目的ではありません。私たちは、姪浜ならではの魅力資産を活かした景観づくりの取り組みにより、「地域の皆さまが歴史ある景観に暮らし、ここで商売をすることに誇りや愛着を持ち続けたい」と考えています。そして、街道や路地を活かした地域コミュニティと会話が生まれる対面型の商店街を再生し、高齢者や子どもたちの姿が溢れるまちにしていきたいです。

○子どもたちに誇りをもって手渡すことのできる景観づくりをしよう

姪浜には多くの宝があります。しかし、まの宝や伝統はそのまま残っていきとどけたり大切にしたりして、最後には消滅してしまえば、まの宝や伝統に誇りを持てない世代にバトンタッチしていきましよう。また、子どもたちと一緒に景観を歩いてまちの宝をともに観察し、姪浜の宝や物語を伝えるなど、子どもたちが姪浜に関心や誇りを持つための入口をつくってあげましよう。

平成26年3月14日

唐津街道姪浜まちづくり協議会、唐津街道姪浜景観づくり委員会

景観づくり計画が示す姪浜の景観づくりの方向性をわかりやすく示し、地域の皆さま方と共有するため、「姪浜景観まちづくり宣言～姪浜の宝を福岡市民の宝に！～」を策定した。この宣言を踏まえ、地域の関係団体や住民の方々のさらなる協力と幅広い参加をいただきながら、より詳細な計画を策定するとともに、具体的な景観づくりを実践していくこととしていたが、まだ道半ばである。地域の方々を中心となった景観づくりの取り組みはこれからである。

B-2-6 「景観づくりの手引き」の作成



平成26年3月に策定した「姪浜景観づくり計画」の内容を地域の方々に広く知っていただき、活用していただきたいと考え、それをわかりやすく示した「姪浜景観づくりの手引き」を10月に発行した。まちづくり協議会と景観づくり委員会では、地域の集まりでの出前講座やみそ蔵でのパネル展等を開催し、この手引きを活用して地域の方々とともに姪浜ならではの地域特性を活かした景観づくりに取り組んでいくこととしている。

B-2-7 町家再生の実践



これは、町家改修に当たっての相談やアドバイスをし、住まい方や町並み形成への配慮について提案してきたものである。改修に当たり、景観形成に十分配慮していただいた事例もある。その一方、空家状態であった町家の活用について打診し、内部まで調査させていただいた家もあったが、親族の反対で解体・建て替えられた家もある。また、各店舗の自主的な取り組みとして、古い町家や家屋が飲食店やカフェ、美容室等として再生・活用される事例も増えてきている。これも今までの協議会活動の成果のひとつと言えるだろう。

B-2-8 旧町名表示板の設置



具体的に目に見える形でまちづくりを実践していくため、協議会でできることから取り組むことになった。その最初の事例が旧町名表示板の設置であり、地域の方々に地域への誇りや愛着を感じていただきたいという想いから、昭和 30 年代の町名表示板を作成し、散策コース(景観回遊路)の主要な場所に設置している。この表示板は、会員手作りのプレートであり、協議会オリジナルの事業である。外注するのではなく、会員が手作りで地域への想いを込めて作ることに大きな意義がある。

B-2-9 「姪浜町家」の認定



姪浜には、江戸から昭和初期にかけて建てられた約 100 軒の町家が残っているが、老朽化や後継者不足等の理由で取り壊される家が増えている中で、当協議会が独自に「姪浜町家」に認定することで、価値を再認識していただくきっかけになればと考え、こうした取り組みを始めた。選定に当たっては、当協議会のメンバーが平成 23 年秋から現地調査や所有者へのヒアリングを行い、保存状態や町並みへの貢献度等を総合的に判断し、姪浜町家として認定した。認定した町家の所有者には、当協議会から手作りの認定プレートを贈呈させていただいた。筆者が協議会に在籍中 26 軒の町家を認定した。

B-2-10 地域のシンボル再生活動



旧マイヅル味噌のみそ蔵は、姪浜の歴史的・景観的シンボルであり、地域のまちづくり・景観づくりに欠かせない重要な建物である。筆者らは、地域のシンボリックな空間を残し、何らかの形で活用していきたいと考え、所有者の協力を得て平成 25 年秋から定期的に特別公開させていただいた。また、公開に合わせ「姪浜展」「トークショー」「ワークショップ」「みそ蔵コンサート」等を開催し、建物の価値や後世に残していくことの意義、活用方法について、来場者と考えてきた。

B-2-11 子どもたちを対象にした景観づくり普及活動①



次の世代を担う子どもたちにも姪浜の魅力を伝えていきたいと考え、子どもたちを対象にした事業にも取り組んできた。「子どもまちなみ探検隊」では、歴史ある寺社、昔ながらの町家、迷路のような路地、そして蒲鉾や削り節の試食といった姪浜ならではの内容に、参加した子どもたちは興味津々で大満足の様であった。まち歩き後に俳句を詠んでもらい、子どもたちの感性の高さに驚かされたこともある。また、景観回遊路に面した、落書きの酷かったお寺の塀を子どもたちに手伝ってもらい、きれいに修景(塗装)したこともある。

B-2-11 子どもたちを対象にした景観づくり普及活動②



次の世代を担う子どもたちにも姪浜の魅力を伝えていきたいと考え、子どもたちを対象にした事業にも取り組んできた。「遊覧船&夏休み親子まちなみ探検隊」は、海や港との関わりの深い姪浜の魅力を再発見するガイドツアーである。魚市場の競りやクルーザー等を見学した後、遊覧船に乗船し博多湾から福岡のまちなみを楽しんでもらおうというものである。猛暑の中であつたが、約 20 名の親子が参加。世界 55 ヶ国から姪浜港を選んでいただき、ヨット生活を送っているヤップさんの双胴船にも乗船させていただき、子どもたちは大喜びの様子であつた。

C-2-1 地域づくりネットワーク活動



唐津街道の宿場町で地域づくりに取り組む関係者で構成する「唐津街道サミット」を、各宿持ち回りで平成 20 年度からほぼ毎年開催。町おこしや地域づくりをテーマに、それぞれの地域の抱える課題や取り組み事例等について意見交換を行っている。これまで、赤間宿、畦町宿、箱崎宿、西新高取、姪浜宿、前原宿、深江宿で開催した。各回、まち歩きと意見交換、懇親会という構成である。姪浜宿では、平成 23 年3月に開催し、姪浜ならではの空間と料理でおもてなしをさせていただいた。

C-2-2 景観づくりネットワーク活動



平成 24 年度に「全国町並みゼミ福岡大会」が開催されたことを契機として、福岡県内で町並み等の地域遺産の保存継承に取り組む団体が「まちなみネットワークふくおか」を組織し、平成 25 年度から持ち回りで「まちなみフォーラム」を開催している。姪浜で第1回目を開催、その後も大川（小保・榎津）、内野宿、津屋崎、八女福島で開催している。地域遺産を活かしたまちづくりの方向性や、その戦略と実践方策について考え、姪浜の景観づくりのヒントもたくさんいただき、今後役に立てていきたいと思ったところである。

C-2-3 大学との連携活動



これは、九州大学の大学院生や建築学科3年生を対象にしたワークショップである。「今の学生は社会との接点が少なく、何でもできると思い込んでいる」ということで、地域に出かけ、実際にまちづくり団体がどのような取り組みをしているのかを学ぶため、企画しているとのことである。一人でも多くの学生に、姪浜というまちに関心を持っていただけたらと思う。社会人になってからも、それぞれの地域のためにまちづくり活動に尽力している人々がいることを認識していただくとともに、こうしたフィールドワークの体験を今後の仕事に活かしてほしいと思う。

C-2-4 展示会を主体としたウィークリー事業



これは、みそ蔵をメイン会場とした一週間単位の事業であり、姪浜に関する絵画や写真等を展示した「ディスカバー姪浜展」と、「みそ蔵コンサート」「姪浜シネマ」「景観歴史発掘ガイドツアー」等を組み合わせたものである。姪浜の多彩な魅力を知っていただけたことと思う。この他、講演会やワークショップなど様々な組み合わせにも取り組んできた。

C-2-5 町家活用イベント



これは、みそ蔵以外の歴史的建造物の活用の可能性を探るため、伝統的町家で映画の鑑賞会やコンサートを企画・実施したものである。姪浜ならではの魅力を発信していくためには、公民館等ではなく、姪浜ならではの場所にこだわる必要がある。今後は、空家となっている町家の活用の可能性も検討していく必要がある。

C-2-6 着物でそぞろ歩き



姪浜らしさにこだわった事業にチャレンジしていく一環として、「着物で唐津街道の町並みをそぞろ歩き」を定期的 to 実施した。これは、唐津街道の趣のある町並みを着物で散策しながら、まちの歴史や景観を学び、伝統文化に触れてもらうものである。春は光福寺や万正寺、観音寺の満開の桜に、秋は興徳寺や住吉神社の紅葉に参加者に大変喜んでいただいた。沿道の方々も美しい着物姿に魅了された様子で、「着物の似合うまち・姪浜」をアピールできた。

C-2-7 「姪浜ブランド」の認定&PR①



唐津街道沿いや旧魚町通りにはすでに名産品といえる商品を販売しているお店や、地元で獲れる新鮮な魚を使った料理を提供している老舗のお店がある。このような商品やお店を「姪浜ブランド」や「姪浜ブランドの店」として協議会が独自に認定し、広く地域内外にアピールしていく活動を平成 23 年度から始めた。認定したお店には、協議会が独自にデザイン・作成した認定プレート进行贈呈し、地域内外に「姪浜ブランド」として発信していくことになった。筆者が協議会に在籍中に 14 のお店を認定した。

C-2-7 「姪浜ブランド」の認定&PR②



「姪浜ブランド」に認定するだけでなく、協議会としても機会を捉えて広く PR することで、お店だけでなく、地域にとっても宣伝効果は高いと考えている(Win-Win-Win の関係)。協議会のイベントだけでなく、唐津街道サミットの活動の一環としても西新商店街や西新プラリバで販売活動をし、PR させていただいたこともある。また、マスコミ取材においても、姪浜ブランド店や商品を率先して紹介している。こうした活動により、姪浜ブランド店との信頼関係を強くし、絆を構築できたと確信している。

C-2-8 全国区の賞へのチャレンジ



平成 25 年度～27 年度に全国区の賞に果敢にチャレンジし、5つの賞を受賞した。これに伴い、マスコミからの取材も大幅に増えた。特に「NPO 都市計画家協会日本まちづくり大賞」や「都市景観大賞（国土交通大臣賞）」の受賞は全国への PR 効果も高く、いろいろな取材を受けたり、遠方から視察に来られる団体も出てきた。また、地域の団体や住民の皆さま方からも協議会の活動を評価していただけるようになった。各種賞の受賞及びそれに伴うマスコミを通じた地域への情報発信は、地域の皆さま方の地域への誇りや愛着の醸成につながっていったと確信している。

C-2-9 地域からの贈り物



平成 25 年度に3つの栄えある賞をいただき、マスコミに大きく取り上げられたこともあり、地域の皆さま方から「姫の浜史跡めぐりの歌」を作っていただいたり、姫浜の名所旧跡及び三賞受賞に関する「相撲甚句」を作っていただいた。相撲甚句については、協議会のイベントでも2回披露していただき、出席された方々も大変感激されていた。こうした地域の方々からの贈り物は、「地域資源の保全・活用に向けた意識醸成と双方向のまちづくりへの展開」につながりつつあると感じた次第である。

C-2-10 様々な場面での姪浜のPR



様々な賞を受賞する中で、国や自治体等からの依頼による視察研修を受け入れてきた。こうした場では、それぞれの時期の地域課題に対応した目標を立て、具体的な活動を粘り強く実践してきたことをPRさせていただいた。町並み形成という点ではまだ成果は出ていないが、地道で多彩な活動は他の自治体や関係者の皆さま方にも大いに参考にしていただけたことと思う。こうした地道なPRは、いろいろな地域のまちづくり団体からの視察の増加につながっていった。

C-2-11 視察受入&意見交換



様々な賞を受賞する中で、他の地域のまちづくり団体からの視察研修も増えてきた。多彩な活動をPRするとともに、姪浜の見どころを案内させていただいた。活動を始めた頃はこちらが視察に行くことが多かったが、姪浜をフィールドにこうした視察研修を実施していただくことをとても光栄に思う。他の団体の取り組みについて、むしろ筆者らが見習うことの方がまだまだ多いと思う。協議会にとって、受賞はあくまで通過点であり、謙虚な姿勢でさらに活動を推進していく必要がある。

B-3-1 地域内の各団体の連携によるまちづくりの推進



次のステージに向けた姪浜のまちづくりを地域の方々といっしょに考えていくため、「姪浜ネクスト」の推進に向けて動き出した。これは、福岡市が推進する「福岡ネクスト」の姪浜版で、みんなの想いをひとつにして、姪浜の多彩な「よかところ」を活かしたまちづくりの実現に向けて取り組もうとするものである。3回の準備会を行い、28年3月に「姪浜ネクスト・まちづくり行動委員会」として発足した。姪浜を取り巻く環境の変化に対応していくためには、地域内のいろいろな関係団体と連携して取り組んでいく必要がある。

B-3-2 空き店舗活用モデル的实践



平成27年12月に空き店舗を活用して開設した新案内所を、地域の情報発信、コミュニティの場となるよう運営するとともに、空き店舗活用モデルとしてPRし、地域内への空き店舗活用の波及を目指していくものである。また、ここを拠点として姪浜ならではの多彩な魅力資源を活かしたまちづくり活動を実践していくものである。そのため、地域内の関係団体等と協働・連携して「姪浜ネクスト・まちづくり行動委員会」を立ち上げ、具体的なまちづくり実践計画書を策定し、モデル事業を実施していくこととした。

C-3-1 新たなまち旅プロジェクトの開発



各種イベントの実施に当たっては、常に「姪浜らしさ」にこだわり、チャレンジしてきた。その代表的なものが、「遊覧船で巡る福岡の歴史とまちなみ」であり、従来のまち歩きに加え、博多湾から姪浜周辺を眺め、歴史解説を行うことで、海との関わりの深い姪浜の歴史をより知っていただくことができた。また、「遊覧船&夏休み親子まちなみ探検隊」や「遊覧船から見る福岡のまちなみと花火大会」も実施し、参加した皆さま方に大変喜んでいただいた。しかし、遊覧船の運航が中止となり、新たな取り組みにチャレンジしていく必要がある。

C-3-2 win-win-win-win 方式によるまち歩きマップの作成・発行



まち歩きマップの改訂に当たり、まちづくり活動の継続性及び「来訪者」「店舗」「姪浜地域」「協議会」の4者の Win-Win-Win-Win の関係構築を目指し、各店舗の協賛を得ながら取り組んでいくこととした。

- ◆来 訪 者……姪浜の魅力を享受できる。
- ◆店 舗……来訪者や地域の方々にお店の情報を伝えることができる。
- ◆姪浜地域……姪浜の魅力を地域内外に発信できる。
- ◆協 議 会……継続的なまちづくり活動に必要な財源を確保できる。

C-3-3 「まち旅プロジェクト計画」の策定



『みそ蔵に代わる地域のシンボルとなる新たな魅力スポットや姪浜らしさにこだわった多彩な事業の発掘・発信』という課題を踏まえ、姪浜のまちづくりの次のステージ「姪浜ネクスト」の一環として、地域内の各団体と協働で、姪浜の多彩なよかとこを再発掘・活用する「姪浜まち旅プロジェクト計画」に取り組んできた。これは、姪浜の魅力を地域内外に発信し、身の丈にあった観光スタイル(着地型観光)の定着を目指していくとともに、コミュニティ交流や商店街活性化、地域に対する誇りや愛着の醸成につなげていくものである。

姪浜まち旅プロジェクト計画（概要版）

【まち旅を進めていく背景】	1
【まち旅プロジェクトの実施に向けたモデル的試行】	3
【まち旅プロジェクト推進のための情報発信ツールの整備】	6
1 着地型観光まち歩きマップの作成・印刷	
2 まちの案内所の整備	
【姪浜まち旅プロジェクト計画】	7
1 活かすべき多彩な魅力資源	
2 今後考えられるプログラム	
3 今後の課題	
4 実施に向けて	



2016年3月
唐津街道姪浜まちづくり協議会

姪浜まち旅プロジェクト計画（概要版）

【まち旅を進めていく背景】

唐津街道姪浜まちづくり協議会では、これまで姪浜の魅力の地域内外への発信をテーマに、「景観歴史発掘ガイドツアー」「みそ蔵コンサート」「まちなみ展示会」等の多彩なまちなみイベントを実施してきた。その結果、マスコミ取材回数の格段の増加や全国的な賞の受賞につながり、地域への来訪者が増えるなど地域の魅力発信や活性化に大きな成果を上げてきた。そして、その中心にはいつも、地域の歴史的・景観的シンボルとなっている旧マイヅル味噌のみそ蔵（国の登録有形文化財）があった。



景観歴史発掘ガイドツアー



みそ蔵コンサート



まちの案内所



地域交流の拠点



登録文化財 みそ蔵特別公開



九州大学ワークショップ



全国町並みゼミ福岡大会



子ども景観教室

しかし、旧マイヅル味噌は平成 25 年末に閉店し、売却も検討されるなど、今後はイベント会場や地域交流の拠点等としては活用しにくい状況であり、これに代わる地域のシンボルとなる新たな魅力スポットや、姪浜らしさにこだわった多彩な事業を発掘・発信していく必要がある。

⇒『ポストみそ蔵の発掘』が喫緊の課題である。

みそ蔵に代わる地域のシンボルとなる新たな魅力スポットや 姪浜らしさにこだわった多彩な事業の発掘・発信

こうした課題を踏まえ、姪浜のまちづくりの次のステージ『姪浜ネクスト』の一環として、地域内の各団体と協働で、姪浜の多彩なよかところを再発掘・活用する「姪浜まち旅プロジェクト」に取り組み、姪浜の魅力を地域内外に発信し、身の丈にあった観光スタイル（着地型観光）の定着を目指していくものである。また、まち旅プロジェクトに取り組むことにより、コミュニティ交流や商店街活性化、地域に対する誇りや愛着の醸成につなげていきたいと考えている。

【参考】魅力資源を活用した今までの主なイベント（みそ蔵以外のイベント）

（１）まち歩き

- ・ 景観歴史発掘ガイドツアー（主に春と秋に実施）
- ・ 着物でそぞろ歩き（春と秋に寺社を中心に実施）
- ・ 子ども（親子）まちなみ探検隊
- ・ 遊覧船ツアー

（２）歴史的建造物でのコンサート、講演会等

- ・ 寺社での灯明コンサート、講演会
- ・ 町家コンサート&姪浜ブランド料理（御園）

（３）その他

- ・ まちなみパネル展
- ・ 町家での映画鑑賞会



【まち旅プロジェクトの実施に向けたモデル的試行】

海や港・歴史との関わりの深い、姪浜らしさにこだわった5つの事業に取り組み、参加者の反応、これまでの実績等を踏まえ、今後の継続的实施に向けた可能性と課題を探った。

（１）夏休み親子まちなみ探検隊（８月）

○海や港との関わりの深い姪浜の魅力を再発見するガイドツアー。コースは、姪浜住吉神社～魚市場～造船所～海苔工場～海豚の慰霊碑～漁協～双胴船見学～クルーザー見学～遊覧船乗船（博多湾周遊による海からの景観の魅力体験、古代からの交流の歴史解説）。30名参加（小学生及び保護者、関係者）。



（２）遊覧船から見る福岡のまちなみと花火大会（８月）

○花火大会の夜の幻想的な景観を遊覧船でクルージングしながら楽しむ。65名参加（一般市民）。



（３）寺社コンサート（１０月）

○多数の寺社がある姪浜ならではのプログラム。今回は、鎌倉時代からの歴史ある古刹・興徳寺での灯明コンサートを実施。樹齢数百年の大楠や改修された境内を灯明やライトアップで厳かに演出。170名参加（地域住民、一般市民、招待者、関係者）。



（４）寺社講話＆紅葉巡りツアー、着物で唐津街道の寺社をそぞろ歩き（１１月）

○多数の寺社がある姪浜の特徴を活かして、将来的には各寺社を巡回する方式で、住職や宮司の講話を聴く事業を企画していきたいと考えている。その試験的取り組みとして、清楽寺の住職の講話を聴き、周辺の紅葉スポットを巡るツアー及び着物でのそぞろ歩きを実施した。30名参加（一般市民、関係者）。



（５）白うさぎ伝説と桜の名所巡り&姪浜ブランド店巡り（３月）

○西区歴史よかとこ案内人のガイドによるガイドツアー。姪浜に古くから伝わる「白うさぎ伝説（興徳寺関係）」「武内宿禰伝説（真根子神社関係）」「探題塚伝説（鎌倉幕府が元軍の来襲に備えて探題を置いた場所。日本の防衛の砦）」に関わる場所や、姪浜の桜の名所（光福寺、住吉神社、万正寺等）、姪浜ブランド店（老舗の削り節店、蒲鉾店、パン屋、料理店）を案内。45名参加（一般市民、関係者）。



【まち旅プロジェクト推進のための情報発信ツールの整備】

1 着地型観光まち歩きマップの作成・印刷

○参加者の反応やワークショップ、関係団体のヒアリング等を踏まえ、着地型観光まち歩きマップを作成・印刷した。

- ・姪浜の見どころ紹介（歴史、まちなみ、食、祭り、お薦めのお店等）
- ・モデル的なまち歩きコース 等



2 まちの案内所の整備

○平成 27 年 12 月に空き店舗を活用して開設した新案内所を、地域の情報発信、コミュニティの場となるよう運営するとともに、ここを拠点として姪浜ならではの多彩な魅力資源を活かしたまちづくり活動を実践していく。



【姪浜まち旅プロジェクト計画】

1 活かすべき多彩な魅力資源（詳細は別添資料参照）

- | | |
|------------|------------|
| (1) 寺社 | (2) 町家町並み |
| (3) 路地 | (4) 海、港 |
| (5) まちかど遺産 | (6) 歴史、物語 |
| (7) 食 | (8) お薦めのお店 |



2 今後考えられるプログラム

(1) 総合型まち歩き（今までの景観歴史発掘ガイドツアー）

- ショートコース（半日コース）、ロングコース（一日コース）、
東コース（住吉神社～愛宕神社）、西コース（住吉神社～小戸大神宮）



(2) テーマ型まち歩き

- 白うさぎ伝説を巡るツアー

（姪浜駅南口モニュメント～興徳寺～龍王館～旦過だるま堂）

- 寺社巡りツアー（今まで案内していない寺社も含む寺社限定ツアー）

- 歴史巡りツアー（古代～現代までを体験できるコース設定）

- 海に特化したツアー（魚市場～造船工場～海豚の慰霊碑～漁協～双胴船～クルーザー～
ゆーみんトマト乗船）

- 路地巡りツアー（住吉神社周辺の路地、光福寺周辺の路地、順光寺周辺の路地等）

- 伝説・物語巡りツアー

- ・白うさぎ伝説（興徳寺関係）
- ・武内宿禰伝説（真根子神社関係）
- ・探題塚伝説（鎌倉幕府が元軍の来襲に備えて探題を置いた場所。日本の防衛の砦）
- ・元寇伝説



（３）季節型イベント

- 歴史散策と桜の名所巡りツアー（春）
- 歴史散策と紅葉巡りツアー（秋）
- 着物でそぞろ歩き（春、秋）
- 遊覧船から見る花火大会（夏）



（４）講話

- 寺社講話（住職や宮司の講話&境内散策）



（５）コンサート

- 灯明コンサート（興徳寺、住吉神社）
- 町家コンサート（森住邸、石橋邸）
- 町家コンサート&姪浜ブランド料理（御園）



（６）体験型イベント

- お寺での座禅体験、点茶体験
- 蒲鉾作り体験（魚嘉）、削り節削り体験（仲西商店）



（７）まち歩き&お薦めのお店でランチ

- 白うさぎ伝説を巡るコース&姪浜ブランド店等でランチ（たつき、オオカミの口等）
- 景観歴史発掘ガイドツアー&姪浜ブランド店等でランチ（たつき、オオカミの口等）



（８）ウォークラリー

- 姪浜駅～唐津街道・魚町通り周辺～マリノアシティ
- 姪浜駅～唐津街道・魚町通り周辺～能古島
- ※JR 九州や福岡市交通局との連携検討



（９）子どもたちを対象にしたイベント

- 夏休み親子まちなみ探検隊



3 今後の課題

(1) 段階的实施と進化

まち旅プロジェクトについては、モデル事業の成果や、策定した計画を基に「とっておきの姪浜！」プログラムとして順次実施し、身の丈にあった観光（着地型観光）を推進していく必要がある。

また、まち歩きマップも工夫・改訂を繰り返しながら進化させていき、姪浜の魅力の情報発信ツールとして活用していく必要がある。

(2) 体験型メニューの掘り起こし

お寺での座禅、姪浜ブランド店での蒲鉾づくり等の体験型のメニューの掘り起こしを進めていく必要がある。

(3) 地域全体での取り組み

まち旅プロジェクトは一過性のイベントではなく、地域の活性化（コミュニティ交流や商店街活性化、地域への誇りや愛着の醸成等）にも大きく貢献するものであることを PR し、当協議会だけでなく、地域全体で取り組んでいく必要がある。

4 実施に向けて

実施可能なプログラムに取り組むとともに、次のような取り組みを進めていく。

(1) 多彩な情報発信

(例) 着地型観光まち歩きマップによる情報発信

まちの案内所の活用による情報発信

お店や関係団体との連携による情報発信

(2) スタッフの知識・意欲向上に向けた取り組み

(例) 研修、自己啓発、他都市視察

(3) 関係者への提言・働きかけ

(例) 案内表示板設置、レンタサイクル



参考1：まち旅プロジェクトの例（平成27年度）

親子まちなみ探検隊

唐津街道姪浜 まちづくり協議会
夏イベント

遊覧船から見る
福岡のまちなみと花火大会

2015年8月15日(土)
PM7:30～PM9:00 ※小雨決行

募集人数：50名
参加料：2,000円（小学生以下1,000円）
集合場所：マリノアシティ福岡西口

唐津街道のまちなみと花火大会を巡る船でクルージングしながら楽しみます。

親子まちなみ探検隊

唐津街道姪浜 まちづくり協議会
夏イベント

2015年8月8日(土)
AM7:30～AM11:40 ※小雨決行

募集人数：50名 / 参加料：小学生以下1,000円、保護者1,500円
集合場所：姪浜海岸（船着場の前3-5-6）

唐津街道のまちなみと花火大会を巡る船でクルージングしながら楽しみます。

■問い合わせ・申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831 TEL: 090-7929-7758

■申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

唐津街道姪浜 秋のまち旅プロジェクト2015

「灯明コンサート」IN 興徳寺

■日 ち：平成27年10月17日(土)
■時 間：18時30分～(開演：17時45分)
■会 場：興徳寺境内(西区姪浜の浜2-3-1)
■雨天時は本堂内に家更になる可能性があります。
■募集人数：150名(小学生未満不可、事前申込みが必要です)
■参加料：2,000円(当日受付時にいただきます)

■千波(フナ)Cello: チェロ
1963年中国ハルビン市に生まれる。11才より、李大師氏のハルビン音楽学院
歌劇院オーケストラの首席にチェロを習いはじめる。14才でハルビンにて
「サイタルデビュー」。1983年、ポルトガルのリスボンのマサークラス
7、1985年、全日本音楽学校を首席で卒業し、中国音楽グループリーダーによる
「リスボン」にて首席ソリストとして活躍。1987年に来日後、1991年より
福岡、長崎、唐津、熊本にて毎年「サイタル」を開催。九州をはじめ、東京、大阪、
上海、武漢等各地で多くの「サイタル」、ソロ、アンサンブル活動を行って
いる。2015年7月、15才目となるピアノTRIOのCDを発表。

■澤山由美(はやま ゆみ)Piano: ピアノ
ピアノをピアノ・コラージュに精通。音楽グループ「CONTINUE」主宰。
1997年より毎年、福岡市においてチャリティコンサートを開催中。
ピアノトリオ「ALTEZZA」を結成し、九州各地で演奏活動に積極的。
市内を中心に幅広い多くのプレイヤーと演奏。現在、生の音楽を聴取
で楽しめる「未就学児のための親子コンサート」や、「ソリストのための
伴奏CD録音」「NKS合唱コンクール」等の伴奏ピアノ活動として活躍
中。2014年「Continue」チャリティコンサートプログラムをリリース。
■野野見光中

主 催：唐津街道姪浜まちづくり協議会
協賛：福岡市認定 唐津街道まちづくり協議会
後援：福岡市西区役所、唐津市、唐津市西区役所、唐津市
協力：興徳寺

■問い合わせ・申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

■申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

唐津街道姪浜 秋のまち旅プロジェクト

景観歴史発掘ガイドツアー

2015

1 歴史散策と紅葉巡りツアー
■日 ち：平成27年11月21日(土)
■時 間：14時～16時30分(小雨決行)
■集合場所：旧マイプル館(姪浜3-3-27)
■募集人数：40名
■参加料：1,000円(事前申込みが必要)
■内 容：
●唐津街道の歴史ある寺社と紅葉の名所(興徳寺、姪浜神社等)を西区歴史よかとこ案内人のガイドにより散策します。
●各地の紅葉や唐津ブランド店(かまぼこ、南門)での試食も予定しています。
●普段なかなか見ることのできる唐津寺(興徳寺と興徳寺の深い寺)のご住職のお話を予定しています。

唐津街道姪浜 秋のまち旅プロジェクト

景観歴史発掘ガイドツアー

2015

2 着物で唐津街道の寺社を
どう歩く
■日 ち：平成27年11月21日(土)
■時 間：14時～16時30分(小雨決行)
■集合場所：旧マイプル館(姪浜3-3-27)
■募集人数：40名
■参加料：1,000円(事前申込みが必要)
■内 容：
●唐津街道の歴史ある寺社と紅葉の名所(興徳寺、姪浜神社等)を西区歴史よかとこ案内人のガイドにより散策します。
●各地の紅葉や唐津ブランド店(かまぼこ、南門)での試食も予定しています。
●普段なかなか見ることのできる唐津寺(興徳寺と興徳寺の深い寺)のご住職のお話を予定しています。

■問い合わせ・申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

■申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

唐津街道姪浜 春のまち旅2016

白うさぎ伝説と桜の名所巡り & 姪浜ブランド店巡り

■日 ち：平成28年3月26日(土) 小雨決行
■時 間：10時30分～14時
■集合場所：姪浜西口
■募集人数：限定30名(事前申込みが必要です)
■参加料：2,000円
(昼食代含む、当日受付時にいただきます)

■内 容：
●西区歴史よかとこ案内人がご案内します。
●「白うさぎ伝説」と「桜の名所」を巡ります。
●「半社」「南門」「おもしろ路地」なども巡ります。
●希望者には、昼食後に唐津寺、愛宕神社までご案内します。

主 催：唐津街道姪浜まちづくり協議会
協賛：福岡市認定 唐津街道まちづくり協議会
後援：福岡市西区役所、唐津市、唐津市西区役所、唐津市
協力：唐津市歴史博物館、唐津市歴史博物館、唐津市歴史博物館

■問い合わせ・申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758

■申込み先
住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、はがき、E-mail、FAXで下記までお申込みください。
唐津街道姪浜まちづくり協議会 事務局 大塚政雄
〒819-0013 福岡市西区姪浜2-3-2-601 E-mail: karasumehama@gmail.com FAX: 092-882-3831
TEL: 090-7929-7758



灯明空間 響く音色

姪の浜 古寺で来月コンサート

福岡市西区姪の浜の旧唐津街道（小倉―唐津）沿いの住民らでつくる実行委員会が10月3日午後7時から、地区で最も古い寺院、興徳寺で「灯明コンサート」を開く。宿場町でありながら、商人町、漁師町といくつもの顔をもっていた姪の浜の寺町としての側面を、地区内外の人に知ってもらおうと企画した。

寺町のよさ 有志PR



本堂前のコンサート会場。マンションが林立する足元に伝統的な街並みが息づいている＝福岡市西区姪の浜5丁目

コンサート会場に計400の灯明を置く。好天なら大木のクスノキの下で、雨がひどければ本堂で演奏を聴いてもらう。約30人からなる実行委はこの2年ほど、江戸期以前のさまざまな面影を残す姪の浜の魅力を知ってもらおうと、白壁の町屋、寺の長塀に沿った遠路のような路地でのウォークラリーや、町屋内の見学ツアーなどを企画してきた。

その一人で市役所勤務の大家政徳さん（51）によると、地区内には、主だった寺が八つ、10を超す神社がある。1260年創建の興徳寺は、7千坪を超す境内にクスノキやカシがうっそうと茂る。「興徳寺を抜きに寺町の浜は語れない。お寺独特の空間でしか味わえない音楽を聴いてほしい」

境内が外部のイベントに使われるのは初めて。提供を快諾した福山正文住職（67）は「観光寺院ではありませんが、地元の人々が懸命に頑張っておられるので、協力しようと考えました」と話す。

定員200人。参加費1500円。申し込みは、住所、氏名、年齢、電話番号を書いたはがき（〒819-0013 福岡市西区姪の浜2-3の2の601）またはメール（ott-masa@iwk.jp）、ファクス（092-8882-3333）で大塚さん（090-7929-7758）まで。

朝日新聞(H22.11.22)「灯明空間 響く音色」

19 地域 福岡 2014年(平成26年)1月31日(金) 毎日新聞

古い町並み 地域の財産に

「昔ながら」生かして 活性化活動

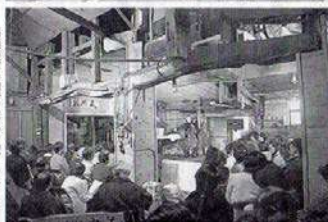
福岡・姪浜 町家や神社仏閣残る「唐津街道」

ふくおか探索

福岡市西区姪の浜の旧市街地は「唐津街道」と呼ばれた道沿いに古い町家と神社仏閣が残る。歴史散策や築180年以上の町家でのコンサートなどを企画する市民グループ「唐津街道姪浜まちづくり協議会（川岡保良）のメンバーに、町の魅力を案内してもらった。（金秀通）

〈ノロノロと歩くの散策後に子どもたち細道メイトはま〉が詠んだ句だ。「築100年以上のまきは、カマボコと 町家や神社仏閣、その歴史のかほり、琵琶姫 周りにはお茶やほら」との細い路地、通り抜ける。昨秋、協議会が主催した「子どもも楽しめる寺・光」を現す。

唐津街道は北九州市の細道メイトはまが詠んだ句だ。築100年以上のまきは、カマボコと町家や神社仏閣、その歴史のかほり、琵琶姫周りにはお茶やほら」との細い路地、通り抜ける。昨秋、協議会が主催した「子どもも楽しめる寺・光」を現す。



H26.1.31 毎日新聞



毎日新聞(H26.1.31)「古い町並み 地域の財産に」

平成 28 年 3 月

編集) 唐津街道姪浜まちづくり協議会

事務局長 大家政徳 (090-7929-7758)

参考 4 - 1 4